



統一メッセージ、ロゴマーク及び 「サイバー衛生の日」(仮称)について

1. 統一メッセージについて

○ キャッチフレーズについて

- ・ 現在の「知る、守る、続ける」は、スマートフォンの一層の普及など、昨今の状況変化を踏まえてもなお有効と考えられ、継続的に同じことを主張することが重要と考える。
- ・ 関係府省庁連絡会議においても今年度、統一して使用することとなった。
- ・ よって、今年度も同様のキャッチフレーズにしてはどうか。

○ キャッチフレーズの補足について

- ・ キャッチフレーズのための発信では具体的な内容が伝わらないことから、それぞれを補足するメッセージもあわせて発信してはどうか。
 - － リスクを「知る」
 - － 身を「守る」
 - － セキュリティ対策を「続ける」

○ キャッチフレーズの活用例

- リスクを「知る」 : スマホには〇〇のようなリスクがあります！
- 身を「守る」 : スマホのリスクから身を守るには〇〇をする！
- セキュリティ対策を「続ける」 : スマホの〇〇を定期的に行う！

○ 重点テーマについて

- ・ キャッチフレーズは複数年間同様のメッセージを発信するが、その時々々の旬なメッセージとしてキャッチフレーズとは別に重点テーマを発信する。
- ・ 重点テーマは、2月の情報セキュリティ月間で集中的にアピールする。

○ 重点テーマの発信内容について

- ・ 発信内容については、以下のとおりとしたいがいかがか。
 - － 「個人向け」及び「組織（企業）向け」の2種類を発信する。
 - － 個人向けのテーマは「スマートフォン」、組織（企業）向けのテーマは「情報流出」とする。
 - － 2種類の重点テーマは、キャッチフレーズを交えながら発信する。

<個人向け（案）>

- ①「アプリは信頼できるサイトから。ウイルス対策も忘れずに」
- ②「大丈夫ですか あなたのスマホは？」
 - 知る : スマートフォンは、PCよりも個人情報がいっぱいです！
 - 守る : アプリは信頼できるサイトから入手しよう！
 - 続ける : 定期的にパスワードを変更しよう！

<組織向け（案）>

- ①「守ろう情報、防ごう漏えい。そのクリック安全ですか？」
- ②「あなたを踏み台にして、組織の知的財産が盗まれる」
 - 知る : データ流出により、組織の信頼が低下します！
 - 守る : 情報は組織・企業の命です！
 - 続ける : メール添付・URLリンクは危険が潜んでいます。常に注意を！

2. ロゴマークについて

官民連携した情報セキュリティ普及・啓発のために一般国民の情報セキュリティに関する意識向上を図り、効果的なPR活動に役立たせ、様々な広報媒体に使用する「ロゴマーク」を今年度に設定したいがいかがか。

○ 設定方法について

- ・ 基礎的なアイディア (コンセプト、モチーフ等を含む) や訴追内容を検討し、事業者にデザインの作成を複数依頼する。
その後、WGの委員の皆様において選定し、平成26年2月の情報セキュリティ月間に使用することとしたいがいかがか。

○ 使用期間について

- ・ ロゴマークの使用期間については、2月の情報セキュリティ月間のみとするのではなく、広く情報セキュリティの普及を図るとの観点から、年間を通して使用することとする。
- ・ 今年度決定したロゴマークは毎年変更することなく、継続して使用する。

3. 「サイバー衛生の日」(仮称)について

サイバーセキュリティ戦略（平成25年6月10日 情報セキュリティ政策会議決定）のサイバー攻撃への対処態勢の充実・強化において、「サイバー衛生の日」（仮称）を新設し、一般利用者等の認識のさらなる醸成を図るための取組を行うことが示された。「サイバー衛生の日」（仮称）について、ネーミングも含め以下のとおりとしたいがいかがか。

○ ネーミングについて

- ・ WG委員の皆様へのヒアリング時において、「サイバー衛生の日」（仮称）や「サイバークリーンデー」（仮称）は一般国民にはわかりづらいとの意見をいただいた。
他方、ネーミングは一般的なものにして、訴求事項（一般国民に何をしてもらいたい）をきちんと広報することが重要であるとの意見もあった。こうしたことを踏まえ、次の中から決めてはいかがか。

- ① サイバー・セキュリティの日
- ② サイバー・チェック・デー
- ③ セキュリティ・チェックの日
- ④ サイバー・防犯・デー

○ 設置日について

- ・ 例年実施している2月の情報セキュリティ月間にあわせることとし、2月2日にしてはどうか。
- ・ 同時開催するシンポジウム等は、2日が休日の場合、翌日又は翌々日の平日に開催する。

○ イベント等について

- ・ 今年度においては、サイバー衛生の日（仮称）を設定したことを広報するとともに、「PC・スマホ等のセキュリティをチェックしよう」と呼びかけることにしてはどうか。（チェックの具体例は今後検討する。）